

【 第 3 回協議会意見についての事務局検討結果 】

1. 事業名 敬老お祝い品引き換え事業

【提案者：松浦委員】

事業者側から見ると、原材料費が高騰している現状で、千円という金額では高齢者が引き換えたいと思う商品を提供することが難しい。高齢者に喜んでもらえる為だけでなく、事業者支援として他の部署と連携し、産業振興なども鑑み、金額をアップして、より良い商品を渡せるような形にしていきたい。

【提案者：堀口座長】

松浦委員の意見を伺って、敬老お祝い品の金額が増やせればと思いました。敬老祝金給付事業の事務局修正案で、88歳に2万円、99歳に3万円となったが、88歳を1万円、99歳を2万円に引き下げ、その差額をお祝い品引き換え事業に充て、対象者へのお祝い品の金額を増やしてはどうか。

【検討結果】

敬老お祝い品引き換え事業につきましては、対象者様からも引き換えたい商品がない。また、お祝い品を引き換えに行くことが難しい、という意見もいただいております。

委員の皆様や対象者様からいただいております御意見を基に、お祝い品の金額につきましては、現行の1,000円から1,500円に引き上げたいと考えます。

また、敬老祝金給付事業と併せ、平均寿命を考慮し、対象年齢を75歳以上から80歳以上へ引き上げを行いたいと考えます。

経過措置として、令和7年度は対象者を76歳以上とし、以降2年毎に1歳ずつ段階的に対象年齢の引き上げを実施いたします。